



“ジュネーブから今を見る” 今日のヘッドライン

アジア

2018年3月8日

中国貿易統計、神経質なこんな時に

トランプ大統領が表明した輸入関税のターゲットと見られる中国が貿易統計を公表、2月は貿易黒字が大幅に増加しました。季節要因が背景と見られます。ただ、米中の通商問題を巡り神経質な時期だけに注意は必要です。

中国2月の貿易統計:ドル建て輸出は予想上回る前年比44.5%と急増

中国税関総署が2018年3月8日に発表した2月の貿易統計で、ドル建て輸出は前年同月比44.5%増となり、伸び率は市場予想(11.0%)を大幅に上回りました(図表1参照)。輸入は同6.3%と市場予想(8.0%)を下回りました。輸入は前月は36.8%でした。輸出が増加した反面、輸入は相対的に低い伸びにとどまった結果、貿易黒字は急拡大しました。

どこに注目すべきか:

中国貿易統計、春節、保護主義、格差

トランプ大統領が導入を表明した輸入関税のターゲットと見られる中国の貿易統計が公表されました。中国の2月の貿易黒字は大幅に増加していますが、春節(旧正月)に伴う季節要因が背景と見られます。ただ、米中の通商問題を巡り神経質な時期だけに注意は必要です。

注目点は以下の通りです。

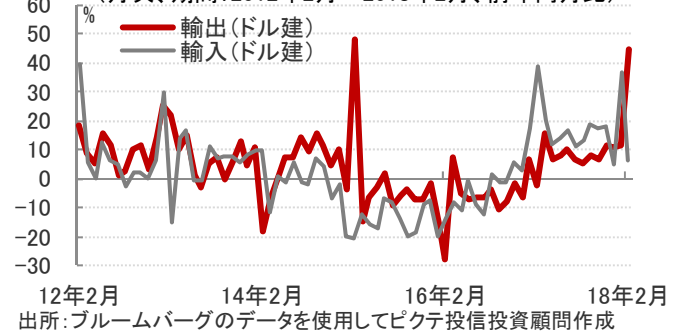
まず、貿易統計に限らず、中国の1~2月のデータは春節に伴う休日不規則であるため、単月のデータは変動が大きくなる傾向が見られます。今後数カ月のデータと共に傾向を確認する必要があると思われます。

次に中国の輸出、輸入動向を見ると16年頃から共に上昇傾向です。中国の輸出、輸入の主な品目を眺めると、部品やエネルギーなど原材料が多く見られ、輸出については電気製品など組み立て製品が目につきます。世界景気の回復に伴い、中国が世界の加工工場となっていた可能性が、輸出、輸入回復の背景と考えられます。

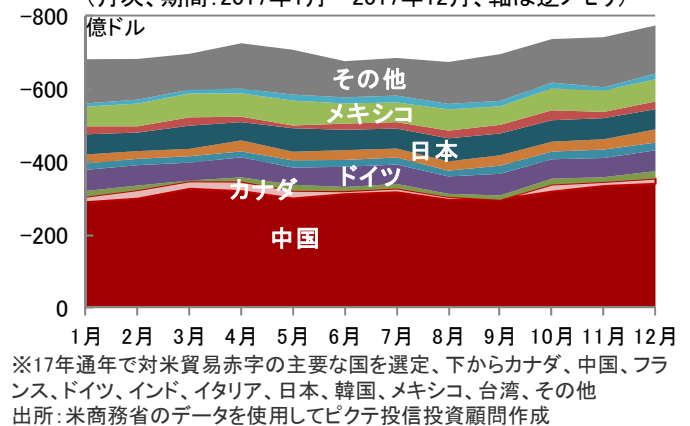
ただ、米国サイドから見ると対中国の貿易赤字(中国の貿易黒字)は他国に比べ巨額となっています(図表2参照)。米国商務省の声明では米国の対中赤字は17年が3752億ドルと、過去最高(最悪?)を記録したと指摘しています。保護主義を強めるトランプ米大統領の批判が高まる可能性はあります。

貿易には、全体の取引が増えるというウィンウィンのプラス面がある一方、弱い産業との格差が広がるマイナス面も懸念されます。格差解消を目指す対策の必要性はあると思われれます。ただし、貿易黒字は勝ち、赤字は負けという極端な考え方をベースとしたものであるならば、その対策には、違和感を覚えます。

図表1: 中国の輸出・輸入(ドル建て)の推移
(月次、期間:2012年2月~2018年2月、前年同月比)



図表2: 米国の主な貿易(財、除サービス)赤字国推移
(月次、期間:2017年1月~2017年12月、軸は逆メモリ)



※17年通年で対米貿易赤字の主要な国を選定、下からカナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、韓国、メキシコ、台湾、その他
出所: 米商務省のデータを使用してピクテ投信投資顧問作成



ピクテ投信投資顧問株式会社

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。